

# 学びの 広場

地域で学び、活動する  
皆さんを応援します  
北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ



## 秋田県社会教育委員連絡協議会表彰を受賞 ～広域にわたる社会教育活動に尽力～

長年にわたる社会教育委員としての功績が認められ、平成27年度の秋田県社会教育委員連絡協議会表彰を受賞した松岡誠三さん（川井）が、7月7日に市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。

松岡さんは、平成21年から北秋田市社会教育委員として青少年健全育成活動に携わり、学校と家庭・地域を連携する学校支援地域本部事業での支援体制づくり、高齢者大学や公民館講座の講師を務めるなど、社会教育の推進に尽力されました。

また、第2次北秋田市社会教育中期計画の策定に

関わり、市民一人一人の生涯学習の推進や地域づくりに貢献されました。



▲津谷市長に受賞を報告した松岡誠三さん（右）

## 前田小学校児童があじさい植栽&イワナ放流 ～未来まで四季美湖に桜を残そうプロジェクト2015～

前田小学校の1年から3年生27人と地域のボランティアが、6月24日に森吉山ダム四季美湖畔であじさいの植栽とイワナの放流活動を行いました。

これは、桜の植樹を通して森林や水の大切さを学んでもらおうと平成23年度から森吉四季美湖を守る宿の会の主催で行われている事業で、今年度は、北秋田市花いっぱい運動推進協議会の協力を得て、市の花であるあじさいの苗50本を植栽しました。

児童たちは、ボランティアの力を借りながら1本1本丁寧にあじさいの苗を植えた後、40センチの

イワナ20匹のほか、イワナ・ヤマメ10,000匹とサクラマス2,000匹の稚魚を放流しました。



▲あじさいの苗の植栽を行う前田小学校の児童

## 芸術文化活動の成果を披露 ～合川地区文化交流会・芸文祭～

第9回合川地区文化交流会と第27回合川芸文祭が、7月5日に合川公民館で開催され、地域で活動している団体などが活動の成果を発表しました。

文化交流会では、八郎瀧町の一市郷土芸術研究会が、300年前から伝わる伝統の妙技「願人踊り」（秋田県無形民俗文化財）を披露したほか、森吉寿太郎さん（阿仁前田）による「ジュタロー笑劇場」では、トークや踊りで会場の笑いを誘いました。

芸文祭では、俳句や華道の作品展示のほか、吹奏楽や民謡、舞踊、コーラス、太鼓演奏など各団体が

ステージ発表を行い、詰めかけた観客からは大きな拍手が送られました。



▲出演者が日頃の練習の成果を披露

### 平成27年度北秋田市文化祭 出演団体・作品募集

申込文化係 ☎62・6618

平成27年度北秋田市文化祭を次のとおり開催します。

開催にあたり、演示出演団体、展示作品を募集しますので、希望される方は、申込用紙に記入の上、お申し込みください。

#### 【会場・期日】

演示部門 北秋田市文化会館  
10月31日（土）～11月1日（日）  
展示部門 鷹巣体育館  
10月31日（土）～11月2日（月）

#### ◇演示出演団体募集

内容 グループによる  
伝統芸能・舞台芸能  
時間 1グループ最長20分まで  
申込締切 8月21日（金）

#### ◇展示作品募集

内容 市在住の個人  
及びグループの作品  
出品制限 希望のスペースや出展  
数により調整します  
申込締切 9月4日（金）

#### ◇申込方法（両部門共通）

生涯学習課文化係又は各地区公民館に置いてある申込書に記入の上、お申し込みください。



### おさるべ元気くらぶ

申込事務局 長岐賢一  
☎090・6101・8906

### 長岐邸の一般公開

江戸末期の1830年に建てられた「七日市の長岐邸（通称おやかたの家）」を見学しませんか。期間中は、案内人が長岐邸をご案内します。  
期日 8月13日（木）～15日（土）  
時間 9時～16時

### 伊勢堂代遺跡特別公開

申込文化係 ☎62・6618

### ジュニアボランティアのガイドがご案内します（無料）

期日 8月14日（金）～16日（日）  
時間 9時30分～16時  
場所 伊勢堂代遺跡（内陸線小ヶ田駅徒歩5分）

### 今月のおすすめの本を紹介！

申込文化係 ☎62・3311

#### 『かわいい多肉植物たち』

（羽兼直行 監修）

『平成26年度代表作時代小説 時を超える熱き思い、絆と志』

（日本文藝家協会）

『103歳になってわかったこと 人生は一人でも面白い』

（篠田桃紅 著）

『大人の美しい一筆箋活用術』

（亀井ゆかり 監修）

## ふるさとの文化財

### ○「口曲がり地蔵」

◇所在地 北秋田市鎌沢（合川）  
◇管理者 北秋田市鎌沢自治会

現在は鎌沢集落を通る道端にあります。古老の話によると、以前は村のはずれ、五城目へ続く「小阿仁街道」の三叉路にあり、後に数回移転したということです。碑面は右手に錫杖を持ち、首には数珠をかけた状態です。左手に宝珠は持たず、どこかを指差しているように見られます。表情はかなり摩滅し、よく読み取れません。

この地蔵は、信仰上のものではなく、右手の下に「…やま乃…」と書かれていること、以前あった場所からして「道標石」ではないかと言われています。人々の旅の安全を願って仏社村の石工により建立されたものと考えられています。現在の向きは西方に面していますが、左手の指す方向は上小阿仁村、小阿仁街道と称する本道を、右手の「…やま乃…」は、山道を経て上小阿仁村長新田・森吉米内沢に至る方向を言っているように

89

す。「乃」は道の略字ではないかと思われま

◇造られた年代は、杖を持った右手の下に、今から210年前の文化3年（1806年）と刻まれています。（文化三丙寅七月）

◇錫杖：僧侶や修験者の持つ杖

◇宝珠：宝物とすべきたま

◇道標石：道路を通行・旅する人の便宜のため、木や石などに方向・距離などを記し路傍に立てた表示物。みちしるべ（風雨にさらされている状態です）。



▲口曲がり地蔵

▽資料／『史友』（合川地方史研究会第12号）『北鹿は宝箱』（合川町編）

▽旧合川町文化財保護・遺産保存関係者の歴史資料

▽協力者／自治会関係者からの聞き取り

▽紹介者／北秋田市文化財保護審議委員 照内捷二